公益財団法人東京 2025 世界陸上財団 第 31 回 理 事 会 議 事 次 第

日時: 2025年 10月21日(火)10時~

場所: JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 3階 会議室8

- 1 開 会
- 2 議事
 - (1) 決議事項
 - (2) 報告事項
 - ・ 大会の開催結果について
 - ・ ボランティア活動実績(速報値)について
 - ・ 業務執行理事の職務執行状況の報告について
 - (3) その他
- 3 閉 会

【配付資料】

- ・大会の開催結果について
- ・ボランティア活動実績(速報値)について
- ・業務執行理事の職務執行状況の報告について

- •••資料1
- •••資料2
- •••資料3

大会の開催結果について





- (1) 大 会 名 称:東京 2025 世界陸上競技選手権大会
- (2) 主 催 : ワールドアスレティックス (WA)
- (3) 開催期間:2025年9月13日(土)から21日(日)まで9日間
- (4) 競技会場:国立競技場(マラソン、競歩は都内で実施)
- (5) ウォームアップ会場 :代々木公園陸上競技場、東京大学陸上競技場
- (6)練習会場:東京大学陸上競技場、大井ふ頭中央海浜公園陸上競技場
- (7) 種 目 数:49種目
- (8) 参加国・地域:193か国・地域+難民選手団
- (9)参加選手数:1,992名(男性1,034名、女性958名)



入場者数

619,288人

'91東京大会、 '07大阪大会を超える 国内最多の観戦者数 チケット販売枚数 約 **58** 万枚

7つのイブニング セッションで フルスタジアム達成 TBS累計視聴人数

7,977 万人

全国規模で注目が 集まった大会に SNS動画視聴数

为 7 億回

世界中の人々が 大会を観戦 メダル獲得

53か国・地域

過去最多の実績で、 多くのアスリートが 最高のパフォーマンス を国立競技場で発揮

ボランティア 活動人数

2,858人

年齢や国籍、障害の 有無にかかわらず 多様なボランティアが 運営をサポート 都内こども観戦招待

4万人超

(招待数、引率者含む)

未来を担う 多くのこどもたちに 世界最高峰の大会を 観戦する機会を提供 国内スポンサー

13 社

専任代理店によらず 公募によって 多数の協賛社を獲得 選手輸送の遅れによる競技開始の遅延

〇件

ウォームアップ会場、 国立競技場間の円滑な 選手輸送で、すべての 競技を予定通りに実施 テロ・雑踏事故

〇件

安全かつ確実に 大会運営を遂行





世界記録 1個

・**男子棒高跳 自身14回目の世界記録更新** アルマント・デュプランティス スウェーデン 6m30

大会記録 9個

<主な記録>

・女子400m '83ヘルシンキ大会以来42年ぶりの大会記録更新 シドニー・マクラフリンレブロニ アメリカ 47秒78

・女子800m '83ヘルシンキ大会以来42年ぶりの大会記録更新リリアン・オディラ ケニア 1分54秒62

・男子ハンマー投 '07大阪大会以来18年ぶりの大会記録更新イーサン・カッツバーグ カナダ 84m70



SUGOI東京の9日間

- ●観客の熱狂が大会全体を包み込んだ
 - 国立競技場内だけでなく、会場周辺や競歩・マラソンの沿道、TV・SNSを通じて全世界が興奮
- ●アスリートも観客の声援に応え、記録が続出
 - 観客の地鳴りのような声援が選手の力となり、好記録が多数誕生
- ●みんなでつくりあげた大会

ボランティアやスポンサー、WA、東京都、日本陸連、国等の関係者とも支え合いながら、

全競技日程を無事に完遂



活動予定人数

活動人数

属性別内訳



【参加率】84.1%

【国籍別】

(単位:人,%)

日本	2,634	92.2
海外	224	7.8

【性別】

(単位:人,%)

男性	1,303	45.6
女性	1,552	54.3
その他	3	0.1

【年代別】

(単位:人,%)

18~24	438	15.3	
25~29	136	4.8	
30~39	216	7.6	
40~49	373	13.0	
50~59	797	27.9	
60~69	688	24.1	
70~	210	7.3	

期間別の活動人数(延べ人数、全会場合計)

(単位:人)

大会期間前	大会期間中	大会期間後	合計
4,296	12,680	180	17,156

会場別の活動人数(延べ人数)

(単位:人)

国立競技場	東京体育館	代々木公園 陸上競技場	東京大学 陸上競技場	大井ふ頭中央海浜公園 陸上競技場	東京国際フォーラム
8,055	2,203	422	736	638	152
チームホテル	WAファミリーホテル	成田空港	羽田空港	マラソン	競歩
2,015	595	714	713	875	38























1 会長及び事務総長

会長は、当財団を代表して業務を執行し、事務総長は会長を補佐するとともに、事務局の事務を統括した

■ 理事会開催

以下のとおり、理事会を開催し、2024年度事業報告及び計算書類等、財政計画の更新などを審議

- ・4月24日(第25回)決議事項1件:評議員会の開催・報告事項3件
- ・ 5 月 2 日(第26回)決議事項 1 件:副会長の選定
- ・ 6月12日 (第27回) 決議事項 9件: 2024年度事業報告及び計算書類等の承認、定時評議員会の開催など ・ 報告事項 5件
- ・ 6 月30日(第28回)決議事項 3 件:東京2025世界陸上を通じた都市PRに係る広告物掲出等業務委託契約など ・ 報告事項 1 件
- ・ 7月16日(第29回)決議事項3件:事務局規程の改正、興行中止保険、スポンサーシップ契約・報告事項1件
- ・ 8月25日(第30回)決議事項3件:大会実施判断に向けた対応、財政計画の更新、2025年度収支予算の補正・報告事項6件
- ・10月21日(第31回)報告事項3件:大会の開催結果、ボランティア活動実績、業務執行理事の職務執行状況報告



■ 評議員会開催

以下のとおり、評議員会を開催し、理事の選任、事業報告及び計算書類の承認等を実施

- ・ 4 月 2 日 決議事項 2 件:役員等候補者選考委員会の実施、役員等候補者選考委員会委員の選任
- ・ 4月28日 決議事項 3件:理事の選任(新たな選任、任期満了に伴う選任)、役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の改正
- ・ 6月27日(第2回定時評議員会)決議事項1件:2024年度貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)の承認・報告事項2件

■ 大会開催

- ・入場者数は619,288人となり、国内で開催された過去大会を大きく上回った。大きな支障はなく全セッションを無事に完遂
- ・WA関係者及び皇室をはじめとした、賓客への接遇

■ その他

- ・5月7日にWAのセバスチャン・コー会長とともに小池都知事と面会し、東京2025世界陸上を「こどもに夢を届ける大会」と していくことに合意
- ・大会100日前の6月5日に、メダル・メダルケースのデザインを発表
- ・ 6 月 7 、 8 日に行幸通りにて、「東京2025世界陸上100 Days To Go!」イベントを開催
- ・6月16日から20日に、大会前最後のWAによるサイトビジットを実施。大会準備の総仕上げに向けた最終確認を行った
- ・8月25日に「東京2025世界陸上 リスペクト・フォー・アスリート ステートメント」を発表
- ・財団内幹部による定例会議の開催などを通じて、各部門の業務進捗状況や課題の把握を行うとともに、必要な対応を指示



2

コンプライアンス担当理事

■ コンプライアンス委員会開催

以下のとおり、コンプライアンス委員会を開催し、当財団コンプライアンス規程第5条に基づく決議事項について審議

・6月4日(第6回)報告事項4件:令和7年度コンプライアンス推進計画について

利害関係者との接触について

第三者審査委員会からの情報提供について

その他





ガバナンス担当理事

■ 第三者審査委員会開催

以下のとおり、第三者審査委員会を開催し、当財団利益相反管理規程第6条第1項に基づく協定及び契約締結の 利益相反該当性事案に係る妥当性、同条第2項に基づく職員採用等に係る妥当性について審議

- ・ 4月21日 (第17回) 決議事項5件:新たな役員等の選任 等
- ・ 5月29日(第18回)決議事項2件:大会を契機とした街路灯フラッグ掲出事業に関する協定締結 等
- ・ 6月25日(第19回)決議事項8件:特別契約の締結 等
- ・7月17日(第20回)決議事項2件:令和7年度短期雇用職員採用候補者採用等 等
- ・ 7月28日(第21回)決議事項1件:令和7年度短期雇用職員採用候補者採用等
- · 8月8日(第22回)決議事項2件:令和7年度短期雇用職員採用候補者採用等 等
- ・ 8月21日(第23回)決議事項2件:大会を契機としたスポーツ気運醸成に関する経費協定締結 等
- ・ 9月5日 (第24回) 決議事項3件:財産に係る物品譲渡契約締結 等



4 セーフガーディング担当理事

- セーフガーディングポリシー及びセーフガーディングプランの策定
 - ・財団におけるセーフガーディングポリシー及びセーフガーディングプランを策定するに当たり、相談・助言等を実施
- リスペクト・フォー・アスリート ステートメントの公表
 - ・アスリート等に対して、SNS等を通じた心無い誹謗中傷が寄せられることのないよう、大会開催前に財団として 声明(ステートメント)を公表するにあたり、相談・助言等を実施
- 大会時におけるセーフガーディングに関連する事案等への対応
 - ・大会運営期間中には、事案について進捗等を確認 なお、セーフガーディングコーディネーターとして、専門的な助言等が必要となる重大な案件については、対象事例なし
 - ・財団におけるセーフガーディングの取組に関する取材への対応を実施



5

広報・PR担当理事

以下のとおり、広報・PR担当理事は、イベント等への出演や取材対応、SNS発信等により、陸上競技やスポーツの魅力と価値を広め、財団の様々な取組も積極的に発信

(1) イベント等への出演

- · Tokyo: Speed: Race (ASICS社主催) (5月3日)
- ・東京2025世界陸上100 Days To Go! (6月7日・8日)
- ・東京2025世界陸上を契機とした「渋谷の陸上教室」(渋谷区立鳩森小学校)(6月13日)
- ・MOWAオープニングセレモニー(7月6日)
- ・MOWAドネーションセレモニー(9月16日)
- ・「社会教育」誌 2025年9月号

(2)動画出演

- ・ボランティア向けビデオメッセージ(7月)
- ・コンパクトで環境に配慮した持続可能な大会をPRする動画(8月)

(3) SNS発信

・財団の公式SNSが発信する最新情報やマイルストーン投稿毎に、自身のSNSアカウントでリポストやいいね!する等、 大会に関連する情報を発信